

# 地域の公共交通の確保に向けた支援

## 取りまとめ

---

「地域公共交通確保維持改善事業」(国土交通省所管事業)

- ・日本全体の人口減少が進み、かつ地方から都市部への人口の流入が続いているなか、地方のバス路線は赤字路線が拡大しており、今後の地方交通の在り方について、バス路線のみならず生活者の足の確保の観点で、抜本的な改善策を早急に検討する必要がある。その際、地域の実情に応じてオンデマンド型の自家用有償旅客運送などへの転換をしやすいとするなどの方策を検討する必要がある。
- ・これまでの補助の仕組みでは赤字路線の拡大に歯止めをかけられていない。そのことを踏まえ、バス事業者の業務連携、バス会社間の提携・合併等のスケールメリットによる合理化、バスに貨物を乗せる貨客混載など、バス事業者の収支改善の取組を効果的に促すような仕組みに補助制度を見直すべきである。
- ・また、現行の制度が、地方の公共交通の現状に即したものとなっているのか検証し、病院や企業など既存の民間事業者が所有するバスなどとの連携をはじめとしたシェアリングエコノミーなどを行うことで、将来にわたって地域公共交通を維持するための方策を検討すべきである。